

**製品名: HNF-4 $\alpha$  ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21100**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:53kD;Observed MW:53kD

**抗原情報**

遺伝子名	HNF4A HNF4A;HNF4;NR2A1;TCF14;Hepatocyte nuclear factor 4-alpha;HNF-4-alpha;Nuclear
別名	receptor subfamily 2 group A member 1;Transcription factor 14;TCF-14;Transcription factor HNF-4
遺伝子 ID	3172.0
SwissProt ID	P41235
免疫原	ヒト HNF-4- $\alpha$ の合成ペプチド

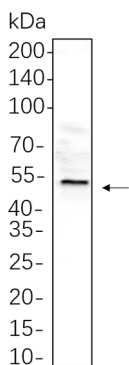
## 背景

細胞局在: 核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ホモ二量体として DNA に結合する核転写因子である。コードされるタンパク質は、複数の遺伝子の発現を制御する。その中には、肝臓における複数の遺伝子の発現を制御する転写因子である肝細胞核因子 1 $\alpha$  が含まれる。この遺伝子は、肝臓、腎臓、および腸の発達に関与している可能性がある。この遺伝子の変異は、単一遺伝子性の常染色体優性遺伝性非インスリン依存型糖尿病 1 型と関連している。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2012 年 4 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



C6 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を HNF-4 $\alpha$  ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。